

2023年7月13日

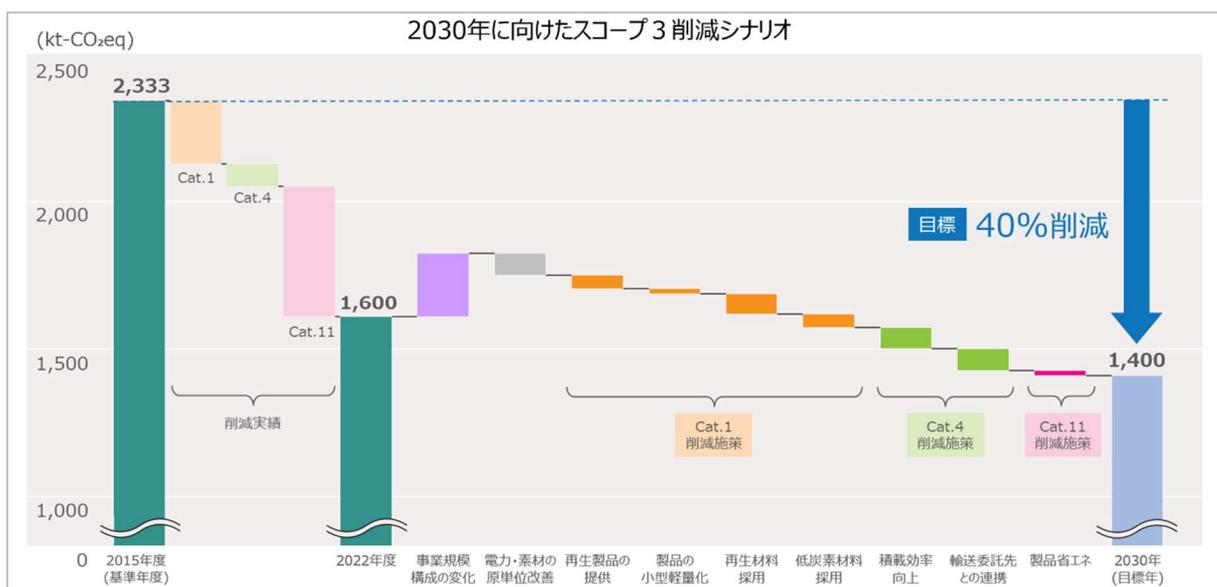
リコー、スコープ3の削減シナリオを策定し GHG 排出削減を強化 ～ カテゴリー4 輸送における GHG 排出量をグローバルに可視化・削減 ～

株式会社リコー(社長執行役員:大山 晃)は、2023年度を初年度とする3か年の第21次中期経営戦略において、スコープ3GHG排出の削減活動を強化します。

現在、スコープ3GHG排出削減への社会的関心が高まっています。企業はスコープ1,2GHG排出削減に対して社会的責任を果たす必要がある一方、スコープ3についても排出量を把握し、自社の施策により可能な限り削減に貢献することが求められています。

リコーグループは、2017年にバリューチェーン全体のネットゼロを宣言し、2020年にはSBT1.5°C認定の取得と、2030年にスコープ1,2GHG排出を63%削減(2015年比)する目標を設定し、ロードマップに基づいて排出量削減を進めてきました。スコープ3GHG排出についても、2030年に40%削減(2015年比)する目標を設定しています。なお、スコープ3の削減目標は、GHG排出の約83%^{*1}を占める原材料調達(カテゴリー1)、輸送(カテゴリー4)、使用(カテゴリー11)を対象としています。

2023年度からは確実な目標達成のため、スコープ3の削減シナリオを策定の上、カテゴリー毎に削減量と削減施策を設定し、取り組みを強化します。



株式会社リコー <https://jp.ricoh.com/>

報道関係のお問い合わせ先 広報室 TEL : 050-3814-2806 (直通) E-mail : koho@ricoh.co.jp
お客様の問い合わせ先

*1:2022 年度実績

これまで主に新製品の開発を通じて、調達(カテゴリー1)および使用(カテゴリー11)の削減を強化してきましたが、輸送(カテゴリー4)については、実際の輸送状況に基づく GHG 排出量が十分に可視化できていませんでした。2023 年度より新たなツールの活用拡大により、同カテゴリーの削減活動を強化します。

【カテゴリー毎の主な取り組み】

■調達(カテゴリー1):

製品の小型軽量化及び再生材料の活用に取り組んでいます。2023 年 2 月販売の A3 複合機^{*2}で業界トップ^{*3}の再生プラスチック使用率^{*4} 50%を達成しました。これは 2023 年度の新規資源削減効果量の約 3 分の 1 に相当します。今後も製品の再生材搭載量拡大を含む削減施策を強化してまいります。

■輸送(カテゴリー4):

これまで輸送に伴う GHG 排出量は輸送貨物の重量と輸送距離、輸送手段を基にしたトンキロ法と、輸送料金を基にした料金法で算出していました。今後はトンキロ法での算出範囲をグローバルに拡大することで、実際の輸送状況を排出量に反映することが可能になります。

具体的には、GLEC (Global Logistics Emissions Council) フレームワーク^{*5} 認証を受けた BigMile 社^{*6}の可視化ツールの活用地域を拡大します。2020 年度から導入中の欧州・中東・アフリカ地域に加え、2023 年度より北・中・南米の各地域内輸送および製品の原産国出向地と仕向け地間輸送における GHG 排出量の計算に導入範囲を拡大します(同カテゴリー排出量全体の約 70%^{*7}に相当)。今後、グローバルで輸送時の排出量を適切に把握し、スコープ 3GHG の確実な削減につなげていきます。

■使用(カテゴリー11):

これまで国際的な省エネ環境ラベルである国際エネルギースタープログラムに準拠し、業界トップクラスの省エネ性能を誇る製品の開発に取り組んできました。2023 年 2 月発売の A3 フルカラー複合機^{*2}では、リコー独自のカラー QSU 技術により、トップクラス^{*8}の標準消費電力量(TEC2018)^{*9}を実現しています。今後も、お客様の環境負荷低減への貢献と、地球環境の保全を目指して、優れた省エネ性能を追求していきます。

*2:2023 年 2 月発売 RICOH IM C6010/C5510/C4510/C3510/C3010/C2510/C2010

*3:2023 年 3 月北米 EPEAT 登録調べ

*4:総プラスチック量に占めるプラスチック回収材使用量の割合

*5:GLEC (Global Logistics Emissions Council) フレームワーク: <https://www.smartfreightcentre.org/en/our-programs/global-logistics-emissions-council/>

*6:BigMile 社は、オランダに本社を置き、サプライチェーンや物流分野で環境影響削減に寄与するデジタルワークステーションを提供。 <https://bigmile.eu/>

*7:一部料金法での排出量算出を含む

*8:財団法人省エネルギーセンターが Web サイトに公開している国際エネルギースタープログラム使用製品(25~60 枚

/分クラスのコピー/ファクス/スキャナー機能付きのデジタルフルカラー複合機)との比較において。2023年2月6日現在。リコー調べ

<https://www.ricoh.co.jp/products/list/ricoh-im-c6010-c5510-c4510-c3510-c3010-c2510/point1#04>

*9: 国際エネルギースタープログラムで定められた測定法による数値

「Driving Sustainability for Our Future. ～持続可能な社会を、ビジネスの力で。」リコーは今後も、事業を通じた社会課題の解決に取り組み、世の中の役に立つ新しい価値を提供してまいります。

■ 関連情報

レポート/データブック

<https://jp.ricoh.com/sustainability/report>

環境保全と事業成長を同時実現する「環境経営」に向けて

<https://jp.ricoh.com/sustainability/environment>

| リコーグループについて |

リコーグループは、お客様の DX を支援し、そのビジネスを成功に導くデジタルサービス、印刷および画像ソリューションなどを世界約 200 の国と地域で提供しています(2023年3月期グループ連結売上高 2兆 1,341 億円)。

“はたらく”に歓びを 創業以来 85 年以上にわたり、お客様の“はたらく”に寄り添ってきた私たちは、これからもリーディングカンパニーとして、“はたらく”の未来を想像し、ワークプレイスの変革を通じて、人ならではの創造力の発揮を支え、さらには持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

詳しい情報は、こちらをご覧ください。

<https://jp.ricoh.com/>